

発売中
100円

憲法9条を変えて、
「戦争する自衛隊」にして
いいのですか (憲法会議・発行)

合意無視で連日夜間訓練

地元住民が即時中止申し入れ

日出生台演習場で米海兵隊が、地元との合意を踏みにじり、連日夜間訓練を強行しています。「ローカルネット大分・日出生台」は15日、九州防衛局に演習の即時中止を申し入れました。

米海兵隊は14日、午後8時以降も22発の砲撃を繰り返しました。さらに、16日、17日、18日も地元との合意を破り、連日夜間訓練を行っています。

大分県、玖珠町、九重町、由布市が、九州防衛局と交わした確認書では、午後8時以降の砲撃自粛が盛り込まれています。ところが

「ローカルネット大分・日出生台」の浦田龍次事務局長は15日、由布市の演習場ゲート前で九州防衛局職員に同防衛局と米軍あてに演習中止、部隊撤収を求める2通の要請文を手渡しました。

浦田氏は、日出生台での冬期の訓練は午後8時までには終了するとされてきたはずと強調。「地元との約束を無視した訓練続行は到底容認できない。われわれも声を大きく上げざるを得ない」と強く抗議しました。九州防衛局職員は「米軍に届ける」と応じました。

この問題では当初「終了サイレンが鳴らなくとも8時以降に砲撃はなく、確認書違反とは言えない」としてきた県が、15日になって「極めて遺憾」と表明しました。

日出生台 米軍演習



▲日出生台演習場に集結する米海兵隊のトラック (ローカルネット大分 日出生台の浦田氏が撮影、12日)



▲実弾砲撃演習の状況を調査に来た日隈市議 (監視小屋、12日)

2020総会を開催

憲法9条を守る日田の会

安倍9条改憲ノー全国署名に取り組もう

憲法9条を守る日田の会は15日、総会を寶屋で開催。「安倍9条改憲ノー改憲発議に反対する全国緊急署名」に取り組むことを決めました。

2020年の活動方針では「市民と野党の共闘で腐敗しきつた安倍政権を倒し、憲法をしっかりと

守り生かしていくことが求められている。私たちの活動の基本を学びと訴えにおく」と強調。「改憲発議に反対する全国緊急署名」、学習会、平和のための市民ウォーク、憲法カフェや映画の上映に取り組むことを決めました。

大山の会員の江田さんは、「9条ステッカーは絶大な効果がある。軽トラックの後ろにつけたステッカーを見て、9条の会に加入した夫婦がいた」と、うれしい経

験を話しました。小山事務局長は、「26歳のアメリカ人のトレバー・スレピンさんが、祖父の米軍人として被爆直後の長崎を訪れた足跡をたどり、戦争や平和を彼なりに考え、講演で話してくれた。その講演に、これまで参加したことのない若い人たちが参加してくれたことは画期的だった」と報告しました。若い会員を増やし、運動を広げる希望となっています。

総会の後は、楽しむことも大事と、懇親会が開かれました。踊りに、民謡、相撲甚句も披露され、楽しい交流の場となりました。



▲安倍9条改憲を許さないたいたいを訴える橋本会長 (寶屋、15日)